

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月13日

議 会 議 長 様

議席番号 12 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 公共施設の 今後は	<p>令和6年6月定例会の一般質問で、公共施設の統廃合に関する質問を行った。町の将来にとって重大な課題であるはずなのに、その答弁はほとんどゼロ回答であった。このままでは将来世代にそのツケが回るだけであり、看過することはできない。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 前回の質問時からこの件に関してどのような検討を行い、何が明らかになり、何が進んだのか。</p> <p>(2) 今後この件に関して大きな影響を与える庁舎の建て替え問題について、以前の私の質問に対して前向きに検討する旨の答弁を行ったわけだが、全くそのような姿勢が見て取れない。町長の考えについて今一度伺う。</p>	<p>町長 副町長 総合政策課長 管財契約課長 担当課長</p>
2. 窪田町政の これまでの 3年間と最後 の年に向けて	<p>町長の任期もあと一年を切った。公約事業をはじめ、ほとんど多くの事業について残念ながら進展が見られない状況が続いている。挽回を期するためには、来年度の予算編成は町長にとって公約実現のための起死回生の機会となるはずである。そこで、以下の点を中心に伺う。</p> <p>(1) 物価高騰の余波を受け、種々の情報によれば給食費無償化を取り入れた自治体の中では、給食が質素になったというところもあるというが、町長の見解は。</p> <p>(2) 病院の経営が苦しく、赤字経営の病院が増えているという状況の中、病院の誘致は可能だと考えているのか。</p>	<p>町長</p>

8月13日 午前・午後10時33分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
	<p>(3) この3年間の御自身の実績は何だと考えているのか。</p> <p>(4) 令和5年12月定例会の一般質問の中で、「公約実現には何が必要か」という私の質問に対し、町長は「人・物・金」だと答弁された。裏を返せば、それがなければ実現できないことを町長自身が認めているわけである。</p> <p>当町の財政を見ればその「金」がないことは明らかであり、それを担保できないまま、実現できないことを唱えるのは町民を扇動していると言える。</p> <p>公約実現に向けて、どのようにその「金」を捻出し、次年度の予算編成にあたるのか。</p>	